

全苗連だより

Vol. 90 (11月号)

令和3年11月16日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和3年秋の叙勲は埼玉県の滝田早苗氏、宮城県の齋藤豊彦氏、岡山県の長畑州三氏が受章

令和3年秋の叙勲は、全苗連関係では次のとおり受章されました。

- ◎ 旭日双光章 滝田 早苗 様 (81歳) 埼玉県苗組理事長
 - ◎ 旭日単光章 齋藤 豊彦 様 (70歳) 宮城県苗組前代表監事
 - ◎ 旭日単光章 長畑 州三 様 (70歳) 岡山県苗組前副理事長
- 栄えある受章誠におめでとうございます。

滝田早苗氏プロフィール

1939(昭和14)年生

埼玉県飯能市在住

現 埼玉県山林種苗協同組合 理事長

昭和53・57年 全苗連会長賞(全国山林苗畑品評会)

昭和59年 全苗連会長賞(山林種苗等生産事業功労者)

平成9・14・20年 全苗連会長賞(全国山林苗畑品評会)

平成13年 林野庁長官賞(山林種苗等生産事業功労者)

平成16年 知事表彰(彩の国森林・林業表彰)

平成23年 知事表彰(彩の国農林水産祭表彰)

平成25年 知事表彰(埼玉県緑化等功労者)



滝田氏からのメッセージ

この度の受章は私個人ではなく、埼玉県山林種苗協同組合の組合員及び林業関係者の皆様の取り組みをご評価いただいたものと、心から感謝しております。埼玉県では近年、充実した木材資源を利用するため皆伐・再造林を進めており、生産量を上回るほどに苗木需要が高まっています。今回の栄誉を励みとし、林業種苗生産の次世代を担う後継者を育成しながら、当組合員一丸となって、花粉症対策苗やコンテナ苗など需要に答える苗木生産に尽力していきたいと思っています。

齋藤豊彦氏プロフィール

1951(昭和26)年生

宮城県東松島市在住

前宮城県農林種苗農業協同組合代表監事

平成19年 全苗連会長賞(全国山林苗畑品評会)

平成26年 農林水産大臣賞(全国山林苗畑品評会)

平成28年 農林水産大臣賞(全国山林苗畑品評会)

平成28年 日本農林漁業振興会会長賞(農林水産祭)

平成28年 森の名手名人(苗木生産)認定(公益社団法人
国土緑化推進機構)

平成29年 東松島市産業特別功労賞



齋藤氏からのメッセージ

この度は身に余る誉れを授かり、驚きと同時に重責を感じております。

しかし、これは私一人の受章ではなく、宮城苗組組合員と林業界皆様の取り組みが評価されたものと深く感謝申し上げます。

東日本大震災により壊滅状態となった海岸防災林復興再生に向けて、組合員一丸となり抵抗性クロマツコンテナ苗を提供し、見事に植栽完了までこぎつけ、そして社会貢献できましたことは、充実と達成感もあり喜びもひとしおです。

私はまだ道半ばであり、今後は花粉症対策の一つである低コストスギ少花粉直挿木コンテナ苗の増殖等、さらなるコンテナ苗の進化向上を目指し、健苗優良苗の安定供給に寄与して参りたいと思います。皆様方のさらなるご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

長畑州三氏プロフィール

1951年(昭和26年)生

岡山県勝田郡奈義町在住

前豊並樹苗生産組合長

前岡山県山林種苗協同組合副理事長

前有限会社社長畑種苗社長

現有限会社社長畑種苗取締役



平成19年10月 岡山県知事賞(岡山県農林漁業功労者表彰)

平成21年9月 林野庁長官賞(山林種苗等生産事業功労者表彰)

平成22年6月 林野庁長官賞(全国山林苗畑品評会)

平成25年6月 農林水産大臣賞(全国山林苗畑品評会)

長畑氏からのメッセージ

このたびの受章は私個人ではなく、岡山県山林種苗協同組合及び豊並樹苗生産組合の組合員皆様の取組みをご評価いただいたものと、心より感謝しております。

近年、省力低コスト再造林の切り札としてコンテナ苗が注目される中、岡山県の研究機関等と連携し、ひのきコンテナ苗の生産技術の確立及び全国的に社会問題化する花粉症対策として少花粉すぎ・ひのきの実用化に取り組んで来ましたが、今回の受章を励みとし、今後とも社会の要請に応える苗木生産に取り組んでいきたいと思っています。

全苗連要望書（「令和4年度林業政策並びに予算に関する要望」）を 天羽 隆 林野庁長官に提出しました

令和3年度第2回全苗連理事会（議事「全苗連要望書について」）が10月21日に書面により開催され、全苗連要望書（「令和4年度林業政策並びに予算に関する要望」）（下記）が全員異議なしとして可決されました。

全苗連要望書は11月9日に大森茂男会長から直接、天羽隆林野庁長官に手交の上要望活動を行ったところです。また、織田央次長、小坂善太郎森林整備部長、橘政行国有林野部長、石田良行整備課長、長崎屋圭太業務課長並びに諏訪造林間伐対策室長、寺本造林資材班担当課長補佐をはじめとします林野庁幹部にも手交する等して全国の苗木生産者の思いを伝えて参りました。

記

令和4年度 林業政策並びに予算に関する要望
(全国山林種苗協同組合連合会)

令和3年度は、全国的に度重なる集中豪雨の発生あるいは日照不足、あるいは干害が発生する等、天候不順による苗木の生育、得苗への悪影響が見られるところであるが、国及び都道府県のご指導並びに生産者の経験及び技術力でなんとか優良な種苗の供給体制を維持しているところである。

一方、現在において最大の懸案となっているのが、伐採後に植林されない即ち再造林が進まないという問題である。

国産材の供給量が拡大しているのにも関わらず、主伐後の再造林が伸び悩むという事態は、森林資源を「伐って(きって)、使って、植える」という森林を循環的に利用していく理念が崩れるばかりではなく、2050年カーボンニュートラルの実現にも悪影響することは必定である。

再造林が進まないという状況は、即ち苗木需要量の見通しが不透明ということを意味し、全国の苗木生産者に大きな不安感を与えているところである。

このような状況下で、我々、全苗連の苗木生産者は、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質の保証された優れた苗木の安定供給に大きな使命を担っているところであり、①普通苗(裸苗)からコンテナ苗への切り替え、②特定苗木や花粉症対策苗木の供給、③カラマツの増産、④コウヨウザンやセンダンなどの早生樹の供給など苗木に対する要請の変化にもしっかりと対応していくこととしている。

そして、行政機関による苗木需給量の見通しの提供、苗木の予約生産・販売体制の構築、苗木生産施設の整備や苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立、調和のとれた苗木生産者組織の育成強化等について国のさらなる支援を求めるとともに、後継者育成に務め、かつ、育苗技術等の向上を目指していく所存である。

全苗連の苗木生産者は、次の事項の実現について強く要望する。

- 一 主伐の増加に対応する確実な再造林に必要な森林整備予算及び苗木生産予算の拡充
- 一 苗木需給量の見通しの提供並びに苗木の予約生産・販売流通体制の構築
- 一 後継者育成並びに外国人労働者の円滑な雇用推進の支援
- 一 エリートツリー等の成長に優れた苗木による再造林を促進する仕組みの創設
- 一 苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立
- 一 コンテナ苗生産に適した品種や優良品種の開発並びに生産技術の開発推進
- 一 調和のとれた苗木生産者組織の育成強化

令和3年11月9日

全国山林種苗協同組合連合会

全苗連・苗組の行事予定

- 11月9日 全苗連林野庁要請行動(林野庁)
- 11月11日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(長崎県)(書面)
- 11月11日～12日 九州苗連協議会総会(福岡県朝倉市)
- 11月15日 東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給調整協議会(石川県)(書面)
- 11月16日 国研森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター現地見学会(茨城県日立市)
- 11月17日～18日 北海道山林種苗協同組合(北海道農林団体)林野庁要請行動(林野庁)
- 11月18日 一般社団法人林業薬剤協会講演会(学士会館)
- 11月23日 農林水産祭式典(明治神宮会館)
- 11月25日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(大阪府)(web)
- 11月25日 林政懇談会(日本造林協会)(TKP 神田駅前ビジネスセンター)
- 11月 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(鳥取県)(書面)
- 11月 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(神奈川県)(書面)
- 11月下旬 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(青森県)(書面)
- 12月 四国地区林業用種苗需給調整協議会(高知県)(書面)
- 12月9日 第60回農林水産祭シンポジウム(天皇杯受賞 福島県上原和直氏)(三会堂ビル「石垣記念ホール」;東京都港区)(主催;農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会)
- 12月22日 コンテナ苗生産技術等標準化に向けた調査委託事業検討委員会(日本森林技術協会)
- 1月 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(神奈川県)(書面)

【令和4年度】

- 9月29日～30日 第6回全苗連生産者の集い(宮崎県「宮崎市民文化ホール」)